

南風

田富南小校長通信

No. 16 12月8日(金)

師走(12月)になりました。



ここ数年、1年間が過ぎていくのが早く感じていたのですが、令和5年も本当に早く過ぎていってしまったと思います。今はもう12月。1年の最後の月となりました。毎年学校通信に書いているのですが、この12月を旧暦(太陰暦)では、「師走」と言います。ちょっとしたその謂われですが、家々で年末になり僧侶(お坊さん)を迎えてお経を読んでもらっていたので、僧侶が忙しく家から家へと走っていた(昔はお坊さんを師と呼んでいたとのこと)ので、家々で「師を走らせる月」から「師走月」だという説であったり、12月が1年の最後の月であり、1年のいろいろなことを「し果たす月」だから、「しはたす」から転じて「しはす」=「しわす」となったからだ、という説があるそうです。いずれにしても、1年最後の月として、まとめをする月ということになるのです。(年末になると新しい年を迎えるために、大掃除もしますよね。1年の汚を落として新鮮な気持ちで新年を迎える、ということですね。)昨日で各学年個別懇談会も終わりました。学校でも2学期のまとめをしっかりと行い、新たな年(令和6年)を迎える準備が始まっています。

○ 出前授業

4年生が外部の講師の先生をお招きしての出前授業を行いました。

① 地方病(日本住血吸虫病)について。

4年生が社会科で、地域の歴史についての学習をしています。そのひとつが「信玄堤」についての学習。実際に見学しての学習を行いました。しかし、地域の歴史についてもう一つ「地方病との闘い」ということがあります。この中央市周辺にはかつて「日本住血吸虫病」という原因不明と言われていた病気があり、その病気との闘いについての学習を行いました。当日は、毎年お願いしているのですが、昭和町の昭和町風土伝承館「杉浦医院」の館長の出井先生にお出でいただき、どのようにしてこの地方病の原因をつきとめて、どのようなこの病気をなくしていったかについてを学びました。子どもたちは出井先生の説明やパネル写真を見ながら、一所懸命学んでいました。



② ^{にんちしょう}認知症についての学習。

^{こうれいか}高齢化が進む中での認知症についての学習を行いました。高齢化が進む現代社会で増えている病気のひとつが認知症だと言われています。市役所の福祉課の方々にお出でいただき、プロジェクターを使いながら大好きな祖母がいつの間にか認知症になってしまい、戸惑いながらの介護を行っていくことなどの本の朗読や実際に認知症を患ってしまった祖母役の方の様子を目にしながら、「認知症キッズサポーターになろう!」というテーマで認知症についての理解を深めていました。



③ 6年生合唱指導

例年、卒業式に向けての^{がっしょうしどう}合唱指導が行われているのですが、今年度も落合先生にお出でいただき、6年生の合唱指導が行われました。今年の6年生の卒業の時には以前よりも多くの歌を歌えるのではないかと思います。何度も何度も落合先生来ていただき、練習すると、本当にきれいで素晴らしい歌声に変わってきます。一回一回の練習の始まりと終わりで、「こんなに違うのか!」というくらい上達していく合唱を早く聞くことができれば、と思っています。



令和6年度児童会役員選挙

12月1日(金)に令和6年度田富南小学校^{じどうかいやくいんせんきよたちあいえんぜつかい}児童会役員選挙立会演説会と^{どうかいひょう}投開票が行われました。3校時から体育館で立会演説会が行われ、児童会長・副会長に立候補した7名の候補者と責任者の演説を聞いて、投票を行いました。来年度の南小の中心となり活動するための役員さんの選挙です。3年生以上の児童みんなが、しっかりと話を聞き、真剣に投票をしていました。



ありがとうございました。

12月4日から7日まで、2学期末の^{こべつこんだん}個別懇談を行いました。長かった2学期。運動会をはじめとするいろいろな活動を行いました。それぞれの活動での子どもたちの様子や日常の学校生活などの様子についてのお話をさせていただきました。保護者の方々からのご意見や希望なども聞く中で、3学期からの南小の教育活動に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。